



2018. 10月～12月 **活動 pick up**



10/4



赤い羽根共同募金

10/23



西川清掃 現地調査

10/29



西日本豪雨 現地調査

10/31



家庭ごみ収集協同組合研修会

11/29



市長政策提言

12/3



JA高松・中国銀行 視覚障害者信号着工

11/18

2018 市政報告会

ご参加、ご声援、
ありがとうございました。
皆様とともに、
「住み続けたい岡山市」
を創り上げてまいります！



松田たかゆき 事務所
TEL & FAX / 086-287-5697

〒701-1333 岡山市北区立田140番地8
HP: <http://www.takayuki-matsuda.com>
mail: t-matsuda@takayuki-matsuda.com

- プロフィール
- ・三井造船(株)玉野造船所
 - ・岡山市役所
 - ・建築設備の設計施工監理
 - ・廃棄物・地球温暖化対策事業
 - ・ESD国際会議誘致等
 - ・(公財)岡山市ふれあい公社
 - ・2015年 岡山市議会議員 初当選
- 所属委員会
- ・保健福祉委員会 副委員長
 - ・大都市制度・広域連携調査特別委員会



日々の活動日記更新中/
松田たかゆき



市政または地域のことについてご相談・ご要望等ございましたらお気軽にご連絡下さい

岡山市議会議員(北区選出) 自由民主党岡山市議団所属

松田たかゆき 市政活動報告



平成30年度 冬号

ごあいさつ

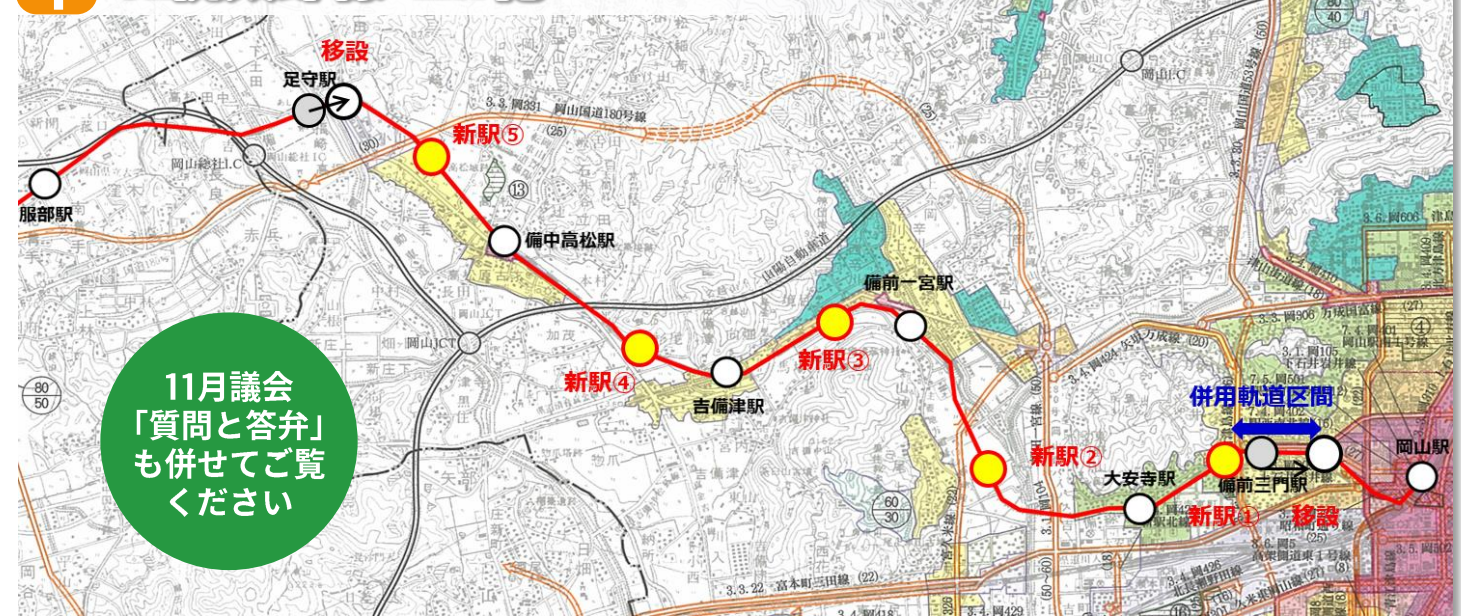
平素より私の議員活動に温かいご理解と
ご指導を賜り心より感謝を申し上げます。
今回の市政活動報告Vol.8では、平成30年9月
及び、11月定例市議会の個人質問や、
ここ半年間の活動の一部をお伝えいたします。
誠実に、そして初心を忘れることなく
精進してまいりますのでよろしくお願いします。



岡山市議会議員 松田隆之

Topic 1

JR桃太郎線 LRT化 (平成30年12月：検討案)



Topic 2

岡山北斎場整備

事業場所	北区富吉2707番7 他
事業期間	平成34年3月31日まで
提案概要	火葬炉数14基 (人体炉12基 動物炉1基・胞衣炉1基)
構造	鉄筋コンクリート+鉄骨・平屋建て
駐車場	普通車180台・バス12台



南側からのイメージ図



9月定例岡山市議会 質問と答弁

質問項目

- 農林排水機場の運転管理について
- 難病対策の実施体制について
- 認定こども園の整備について
- 農業者の高齢化について

農林排水機場の運転管理について

- Q 農林排水機場の設置目的と排水能力の考え方を見直すべきでは。

農作物への被害を防止するために設置しており、能力は、10年に1度程度の確率で起こる降雨に対し、水田が24時間以上、30cm以上水につかり続けることのないように設計している。雨の降り方などについても検証し、見直し等必要であれば考えたい。

- Q 運転管理員にとって、同じ水系の排水機場の運転状況や、河川水位、上流域の雨量等の把握は重要、情報を得る手段、安全確保策は。

ポンプ運転の現場では、今後、情報連絡体制の強化、水位情報を得る手法のマニュアル化など改善を検討していきたい。また、運転員の人命、安全確保に注意を払うことが最優先課題の一つであり、避難経路の確保、転落防止柵、視線誘導標、止水板など安全対策を検討していく。

難病対策の実施体制について

- Q 難病対策の権限移譲は、難病患者や家族にとってメリットがあったのか。

医療費助成の窓口だけでなく、申請受付から認定審査まで一括して担うことで、患者や家族には、わかりやすく手続期間の短縮効果があった。また、保健所に難病相談支援センターを設置したことにより相談しやすくなった。

認定こども園の整備について

- Q 既存の保育園、幼稚園から幼保連携型認定こども園に移行する場合の新定員、園庭面積、駐車台数について、考え方を示せ。

定員設定は、既存施設の入園児童数や地域ニーズを考慮して行う。園庭面積は、既存の施設の敷地において、学級の編成、職員、設備及び条例に基づく面積以上とする。駐車台数は、児童の送迎用として、また、徒歩や自転車で通園する園児、保護者の安全確保のため、施設の敷地やレイアウト、交通環境等を勘案しながら整備する。

- Q 市立幼保連携型認定こども園の施設配置について、なぜ、30提供区域ごとに1園にこだわるのか。

民でできることは、民に任せることを基本方針とし、教育・保育提供区域ごとに1園、セーフティーネットとしての役割を持つ市立の幼保連携型認定こども園を整備する。



農業者の高齢化について

- Q 農業者の高齢化に伴う課題は。

農業者の高齢化の進展は、農業施設等の維持管理を初め、地域の活力の衰退にもつながるものと危惧しており、農業後継者や新規就農者の育成、確保、既存の農業者の農業経営力の向上に努めている。

- Q 農業用施設維持管理及び整備事業費は地域の要望に対応できているのか。事業費の推移と対応状況は。

近年、農業用施設に係る維持補修や改修の要望が増加している。事業費も対前年比で3%～5%の増額をしているが追いつかない状況であり、限りある予算を有効活用し、維持管理や改修に努めたい。

11月定例岡山市議会 質問と答弁



質問項目

- 豪雨災害の復旧について
- JR桃太郎線のLRT化について
- 吉備路の観光振興について
(日本遺産・観光誘客)

豪雨災害の復旧について

- Q 災害復旧事業の復旧期間は3年以内ですが、市は、河川、道路、公園、農地、農業用施設及び学校などの復旧事業はいつ頃までに完了するのか。

来年度の出水期(かんがい期)までの完了を目指している。なお、大規模事業や用地取得が必要なものは、完全復旧が再来年度までずれ込むものもある。

- Q 復旧事業が行われていない地域の方々は、「来年の出水期に間に合うのだろうか」と心配している。地域の要望へどのように対応するのか。

経験したことのない規模の被災件数を抱え、査定や申請手続きに時間を要し、復旧工事が遅れている箇所も多い状況であり、地域の皆様に丁寧に説明を行いつつ、早期の災害復旧に努めたい。

JR桃太郎線のLRT化について

- Q 沿線地域の皆様の関心が高いのは新駅設置であり、「新駅設置の考え方」をお示しください。

現在の検討案では、「沿線の人口集積地をカバーすること」「周辺の人口集積地をカバーすること」「最大でも既存の駅間に駅の設置を一つまでにしたい」と考えている。

- Q 市は、いつから、どのように議論の場を設けられるのか。

年内、今議会が終わればすみやかに、地域に出向き考え方や駅の設置案などについて、ご意見を伺いながら丁寧に議論を進めていきたい。

吉備路の観光振興について

(1) 日本遺産

- Q 構成文化財の周辺住民からは、「取り組み状況が見えない」との声が上がっている。理由と対応策は。

各事業を現在実施中であり、動画やWebサイトなどを活用した情報発信はこれからとなる。今後は、情報発信や普及啓発を図るとともに、ワークショップなどを通じて地元を盛り上げる方法を検討する。

- Q 年末年始には、吉備津彦神社、吉備津神社など、桃太郎伝説の文化財に多くの人出が予想される。今からでも間に合う方法で県内外の観光客に岡山市をアピールしませんか。

「日本遺産PRのぼり」を準備するなど早急に検討したい。



(2) 観光誘客

- Q サイクリングロード整備の取組成果と、今後の取組方針は。

県下統一の路面標示や案内看板の設置、路面の段差解消に取り組んできた。現在、日本遺産文化財の掲載や外国語表記も含めたサイクリングマップを作製している。今後、観光客のニーズ調査の上、自転車の活用促進について検討していきたい。

- Q 岡山桃太郎空港と岡山駅を結ぶ特急やノンストップバスは1日20数本、倉敷駅北口は1日10本程度あり、1日数本のバスを吉備路経由にして、吉備路観光をしていただいてはどうか。

ご提案は、吉備路の観光振興上有効と考えているが、バス路線の新設や拡充は、交通事業者の経営判断も必要であり、吉備路への交通手段確保全体の中で議論したい。